

たったひとつの
命に
こだわって

医療過誤原告の会30年のあゆみ

医療過誤原告の会

医療過誤原告の会設立宣言

医療過誤原告の会30周年記念誌発行に当たって	宮脇正和	2
------------------------	------	---

「原告の会」におしみなく力添えをしてくださった方々

「医療過誤原告の会」設立三十年を迎えて	勝村久司	4
原告の会30周年に寄せて	加藤良夫	8
日本における医療事故と患者の権利の歴史	鈴木利廣	10
医療事故調査制度設立と制度改善の運動について	永井裕之	13
医療事故調査制度設立と改善の運動	木下正一郎	21
医療界は事故再発防止への努力をしているか？	隈本邦彦	24
医療事故再発防止と医療基本法—医療過誤原告の会30周年に寄せて	小林洋二	28
近藤さんと啜った長野の蕎麦の味	堀康司	31
医療安全・医療過誤訴訟、共に歩んで30年	加藤高志	32
患者の人権確立に向けて	小林展大	33
なぜ医者だけが刑事責任を問われないのか？「下手くそ罪」をつくれ！	富塚孝	35
患者のための医療、実現へ	田辺功	37
当事者の声が医療を変える	高梨ゆき子	39
医療安全の向上を願い、医療過誤原告の会30年にあたって	桐野耕一	41
真実を求め続ける	山屋智香子	43
患者・家族と医療をつなぐ—架け橋	豊田郁子	45

医療被害者の闘いとその思い

医療被害者が真実を知り、病院の悪い体質を改善させるために	篠原聖二	48
医療事故後の「医療過誤原告の会」の役割	美馬善三郎	51
国立国際医療研究センター病院「医療安全の提言」の実施状況を検証する	千葉浩司	54
夫の医療事故死、私を裁判に突き動かしたもの	西本和子	56
伝えたい被害者遺族の姿	清水紀子	60
あの日に戻りたい	島田哲	62
医療安全を願って	富永恵子	64
裁判を起こした理由	春木聡	67
医師の不作為で妻が手遅れの卵巣がん死、裁判で勝訴的和解	城戸内昭浩	69
妻と胎児を亡くして	山野健次	71
妻の医療死亡事故と、その遺族としての経験から	長濱明雄	74
母の死—医療過誤裁判を経て思うこと	杉田いずみ	76
医療事故、医療裁判を経験し、今後の想い	中島哲也	79
心療内科クリニックから精神科病院に惑わされた8ヶ月	町田和江	81
姉の代弁者となる覚悟で、今日まで	浦野彰英	84
医療事故調査制度を利用してわかったこと	山口由美	86
母の医療事故を通じて体験したこと	石村昌子	88
訴訟を目前にして	河井由起	91

医療過誤原告の会三十年の活動	94
----------------	----

医療過誤裁判と原告の会の推移	107
----------------	-----

日本の医療被害者をとりまく状況	108
-----------------	-----

医療過誤原告の会ウェブサイトの紹介	117
-------------------	-----

医療事故原因調査、資料閲覧会活用のご案内	118
----------------------	-----

第30期役員	120
--------	-----

編集後記	120
------	-----